

# テーマ“農業で食という架け橋を”

## 1. 農業総合コースのやるべきこと

### (1) 私と貧困の子供たち

#### 【日本と海外の違い】

私⇒お腹が空いたら、自宅でご飯を食べることができる(お腹いっぱい)。

アフリカや西アジアの人達

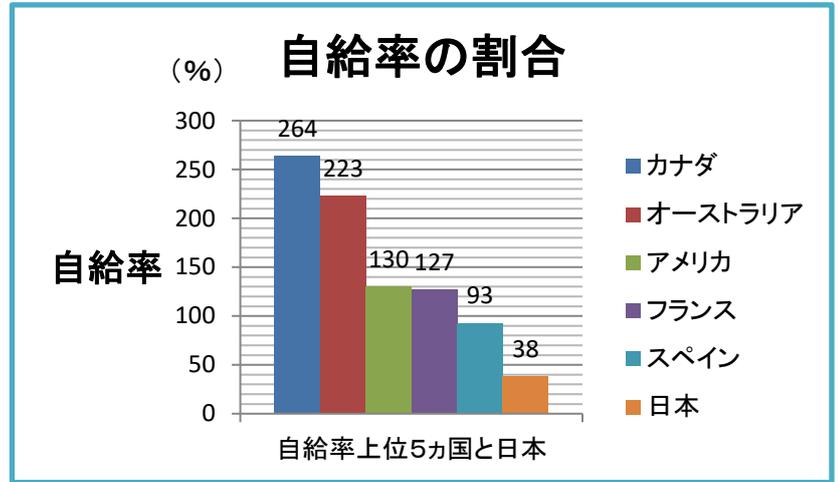
⇒自分達が手に入れられる食料だけでは足りない。一部の地域では支給されているが、されていない地域では自ら作物を栽培したものではお腹を満たすことはできない。**栄養ある食事を子供たちがとることができない。**

◎改善していくには...

⇒自らの手で**栄養のある(トマトやブロッコリーなど)作物を栽培する**

⇒**国全体の自給率を上げる**

(グラフの国自給率の高い国を目標にして高めていく事が大事)



日本は平成27年度。その他の5か国は平成25年度の農林水産省のデータです。

### (2) 貧困で引き起こす問題

貧困の原因として一つに、農業の環境が原因で**農作物を栽培する事が困難**である。

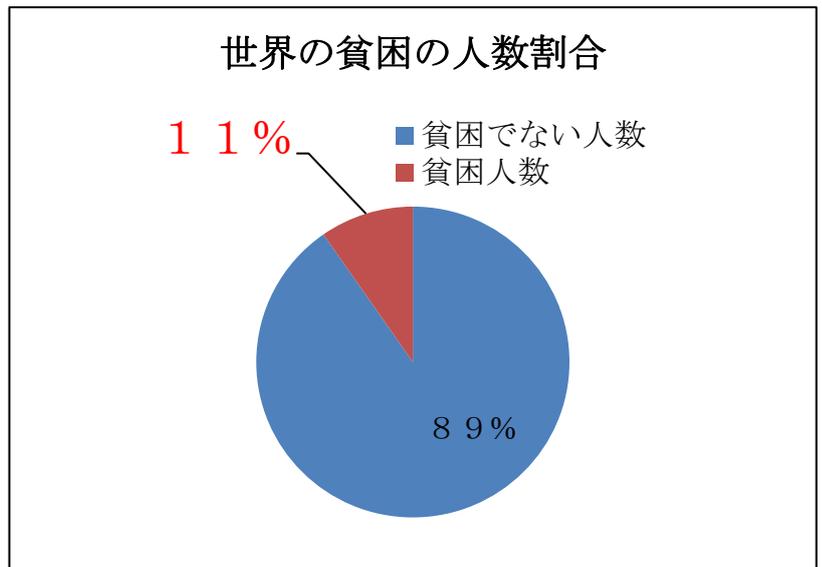
栽培できない⇒食べるものがない⇒収入を得ることができない

(農作物は売ることは収入を得るひとつの手段)

その影響で栄養失調により、病気になってしまったり、最悪の場合餓死している。世界の人口の約11%(約7億2500万人)が栄養失調になり、その中で約0.26%(約2000万人)餓死している。

この問題とともに、奪い合いなどの犯罪が起き治安が悪くなっている。

農業に取り組むことで、貧困を改善できると考えています。



WFPの2015年のデータです。

世界の9人に1人が貧困の影響で栄養失調になっている。

## 2. 大学での目標と夢

### (1) 貴学と海外で行いたいこと

国際学部の特徴⇒海外の文化が異なる人たちと様々な言語で交流していくことができる環境

\* 留学の環境も整っているので、留学をして現地の人たちと、さらに異文化交流ができる。

また、実際に目で見て、肌で空気を感じることができる。

「農業総合コース」を選択⇒農業の開発や生態学などを学び海外の貧困地域に適した農産物の研究をしたい

具体的な研究テーマ⇒「イスラエル農業の研究」

(貴学を受験するきっかけとなった、パンフレットに載っている竹下先生がされている研究)

### (2) 将来の夢

イスラエル農業の研究をして、中国への適応を研究して、中国での農業に関わる仕事をしたい。

なぜ、中国なのか⇒地域によって貧富の差が激しすぎる。

中南や華東の地域⇒資源が豊かで、野菜や穀物を中心に育てられる

東北や西北の地域⇒干ばつなどで、かろうじて穀物などを育て、野菜や果物といった水分を多く含むものは育ちにくい。乾燥地域で、農業がしにくい。

イスラエルの農業の適応

中国は多くの水を使用しているが、各人が使用する水の量は  $450\text{m}^3$  (世界平均は年間  $1700\text{m}^3$ )

(中国人の一生涯に水を使う量は、全世界の平均の4分の1)

干ばつ地域などでは再生水を利用する事が非常に良いと思われる。

⇒イスラエル農業の適応

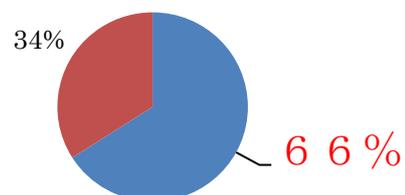
⇒農作物の栽培

⇒自給率の向上

(餓死を防ぐ、貧困からの脱出)

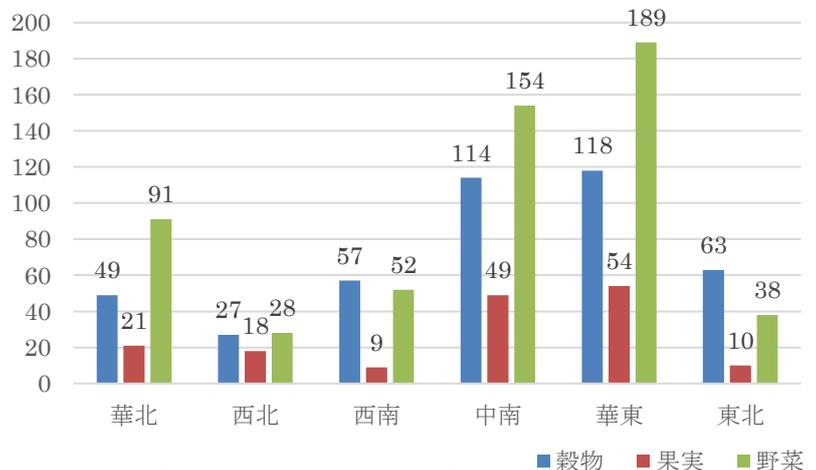
### 世界の貧困割合

■ アジア ■ アジア以外の地域



WFPの2015年のデータ

### (100万トン) 中国の地方別の農産割合



### 世界の水使用ランキング

$\text{k m}^3/\text{年}$

